



Contents

- 1 2026年度入学式
- 2 2025年度卒業式
- 3 歯科医師国家試験結果/歯科衛生士国家試験結果
- 4 歯学部海外協定校受け入れ
- 5 さくらサイエンスプログラム
- 6 浦安警察署より感謝状授与
学生防犯委員会V5の功労を称えて
- 7 2027年度入学試験日程一覧

2026年度 入学式

明海生としてのキャンパスライフがスタート

多くの保護者、来賓の方々、本学教職員に見守られる中、学部、大学院、別科の新入生たちは中寫裕学長から入学許可を受け、明海大学の学生としての新たな一歩を踏み出した。

中寫学長は学長式辞で教育の原点である建学の精神について触れた後、「本学ではホスピタリティという言葉大切にしています。社会性の根源であるホスピタリティ・マインドを持ち、豊かで多様な創造性を惜しみなく発揮できるような、夢や目標を持つ学生生活を明海大学で送ってください。大学での学びは教室の中での勉強だけではありません。大学生活での様々な経験から、合理性を身につけた考え方や行動を取ることができるようになるでしょう。学歌の一節にあるよ



力強い宣誓を述べた新入生代表の森愛莉さん(経済学部)

うな『自らができる何か』をこの明海大学で見つけ出してください。大学を挙げてみなさんを支援します」と新入生

を激励した。

続いて、新入生を代表して経済学部の森愛莉さんが宣誓し、「学識人徳に優れた諸先生のもとで人格形成に精進し、健全明朗な学風の樹立に進んで努力いたします。そうしてやがては本学が建学の精神として掲げる広く国際未来社会に活躍し得る有為な人材にならんことを希うものです。皆様のご期待に添い、目標に向かってより実り多き学生生活を送ることをここに誓います」と力強く述べた。

新入生の退場時には宮田淳理事長や中寫学長をはじめとする教員が一人ひとりに明海大学のバッジを手渡し、激励の言葉を贈った。

明海大学 建学の精神

『社会性・創造性・合理性を身につけ、
広く国際未来社会で活躍し得る
有為な人材の育成をめざす』

社会性:常に変化する社会の中で自ら課題を見つけ、解決する能力

創造性:新たなモノや考え方を生み出し、前に進もうとする姿勢

合理性:情報社会のなかで的確な判断基準を持ち、自分自身を確立する力

2025年度 卒業式 夢に向かって旅立つ

3月10日、2025年度卒業式が全学部・研究科を合わせて一斉に浦安キャンパスで挙行され、907人の卒業生および修了生がそれぞれの夢に向かって旅立った。宮田淳理事長、中寫裕学長、各学部長・研究科長、別科長、来賓として姉妹校である朝日大学の大友克之学長、海外協定校であるアメリカアラバマ大学バーミングハム校のイリス・キャサリン・デングラー准教授らが列席。国歌斉唱に続き、学位記および修了証書が授与された。

学長式辞で中寫学長は「卒業生の皆さんには、変化し続ける社会の中でも自分自身の確かな軸を持って歩んでほしいと思います。その拠り所として、建学の精神を心の中で呼び起こしながら進んでください。これまで支えてくださったご家族や関係者の皆さまへの感謝を忘れず、胸を張って新たな一歩を踏み出していっていただきたいと思いま

す」と述べた。

さらに来賓祝辞の後、学業成績優秀者らに宮田賞および学長賞が授与された。最後に、卒業生を代表して経済学科の野村迅汰さんが、「入学当初は新しい環境に馴染めず悩む日々もありましたが、2年生の海外研修を機に自身の未熟さと向き合い英語学習に励んだ経験が、大きな自信へとつながりました。今

後は大学での学びと経験を糧に、一度きりの人生を悔いのないよう、自分らしく歩んでいきたいと思っています。最後に、情熱あるご指導をしてくださった先生方、支えてくれた家族や友人に心よりお礼申し上げます」と謝辞を述べた。

また、閉式後には、壇上で理事長、学長、副学長、各学部長、学科主任をはじめとする教員らが卒業生一人ひとりに記念の花を贈呈し、教員と学生が直接言葉を交わしながら、感謝の思いを伝え合う温かなひとときとなった。



晴れ着に身を包んだ卒業生と教員が記念撮影

全新生対象の産学連携「グアム研修」が始動 世界・社会・サステナビリティを学ぶ 明海大初の全学プログラム

本学は、株式会社JTB、日本航空株式会社、P.H.R. KEN Micronesia, Inc.との産学連携により、全新生を対象とした「グアム研修」を新たに実施する。本プログラムは、学部の枠を超えて全学生が5日間の海外生活を共にする、本学初の全学的な初年次教育プログラムである。

■経済的負担を解消し、国際社会への視野を広げる

本研修の大きな特長は、研修費用を大学が全額負担する点にある。すべての新生が平等に海外での学びに挑戦できる環境を整えることで、建学の精神である「国際未来社会で活躍し得る有為な人材」の育成をめ

ざす。

■「探究」と「実践」を循環させる学びの設計

研修には本学独自の探究学習「明海スパイラルメソッド」を導入。事前研修で問いを立て、現地でのフィールドワークや交流を通じて理解を深め、事後振り返りを行うことで、一過性の体験に終わらない「自ら考え行動する姿勢」を育む。

■産学官の強みを活かした多角的なカリキュラム

グアム大学の協力による学術的な講義に加え、連携企業による産業視点の座談会、さらに歯学部・保健

医療学部向けには現地歯科医師と連携した地域医療の学びも提供される。

政府の「もっと海外へ宣言」とも歩調を合わせ、明海大学は今後も産学連携を進化させ、学生の可能性を世界へと広げていく。

明海大学 初年次海外研修と産学連携協定に関する 共同記者会見

明海大学 × 株式会社JTB × 日本航空株式会社 × P.H.R. Ken Micronesia, Inc.



左から西松千鶴子専務（JTB）、中寫裕学長、青木紀将副社長（日本航空）、柳澤達CEO（P.H.R. KEN Micronesia, Inc.）

歯科医師国家試験結果 高い合格率を達成 歯科衛生士国家試験結果

1月に第119回歯科医師国家試験が実施され、3月に合格者が厚生労働省から発表された。歯学部の新卒者の合格率は91.0%と私立大学の新卒平均合格率78.4%を大きく上回る結果となった。これは、全歯科大学歯学部29校中第5位、私立歯科大学歯学部17校中第4位に相当する。本学歯学部では、一人ひとりの理解

度に合わせた少人数制による国家試験対策を通じて、学生の成長をきめ細かく支援し、今後も引き続き、質の高い歯科医師の育成に努めていく。

また、3月に行われた第35回歯科衛生士国家試験の結果、受験した保健医療学部生全員が見事合格し、合格率100%を達成した。合格率100%は昨年に続いて2年連続となり、

2023年卒業の第1期生から継続して、全国平均を上回る高い合格実績を残している。

第119回歯科医師国家試験 合格率

91.0% (新卒者)

第35回歯科衛生士国家試験 合格率

100% (新卒者)

2月16日、東京都立篠崎高等学校と教育連携に関する協定を締結した。本協定は、相互の教育資源を活用し、教育活動の充実を図るとともに、生徒・学生の学習意欲の向上および進路選択の支援を目的としている。これまで本学と篠崎高等学校は継続的な入学実績を背景に教育面での連携を重ねてきており、今回はその信頼関係を基盤に、さらなる連携強化を図るものだ。

今後は、大学教員による出張講義や特別授業の実施、生徒の大学見学・

未来へつながる学びの架け橋

東京都立篠崎高等学校との高大連携協定を締結

授業体験の受け入れ、大学生との交流機会の創出など、双方向の学びを推進し、大学生による高校の授業・行事見学や、生徒との交流を通じた実践的な学びの場を拡大していく。さらに、教員間の情報交換や探究学習、研究活動における連携を通じ、教育内容の一層の充実と質の向上を図っていく。

本協定により、高校生が早期に大学

教育に触れる機会を得るとともに、本学学生においても社会と関わる実践的な学びの場が一層充実することが期待される。



中島裕学長(左)、高橋聡校長(右)

明海大学が株式会社ベイフットボール浦安と包括連携協定を締結 — スポーツを通じた地域貢献と次代を担う人材育成の推進へ —

3月16日、浦安キャンパスにて、本学とブリオベッカ浦安・市川を運営する株式会社ベイフットボール浦安は「包括連携協定」を締結した。本協定は、「地域連



(左から)柱谷哲二監督、中島裕学長、谷口和司代表取締役社長、都並敏史監督



共同記者会見の様子

携「教育・文化及び研究」「人材育成」「スポーツ交流」の推進を目的としている。

締結式および共同記者会見では、本学の中島裕学長と株式会社ベイフットボール浦安の谷口和司代表取締役社長が署名を行った。また、日本代表として共に世界で活躍した本学体育会サッカー部の柱谷哲二監督と、同クラブの都並敏史監督も登壇し、両者の資源を最大限に活かした連携の展望について説明がなされた。

今後は、サッカー教室の実施や地域活性化事業の共同運営、インターンシップを通じた実務教育、スポーツマネジメント等の特別講座の開設など、多角的な連携を強化し、スポーツを通じた地域

社会の発展と高度な人材育成の充実が期待される。

本協定により想定される事業等

- ①地域連携活動に関すること
地域活性化事業の企画・立案、サッカー教室の実施など
- ②教育・文化及び研究促進に関すること
講師の相互派遣、一般向けセミナーや市民講座の共同開催など
- ③人材育成に関すること
インターンシップの促進、選手・職員に対するキャリア教育支援など
- ④スポーツを通じた交流事項に関すること
スポーツの振興、スポーツ指導法やトレーニング論等の特別講座の実施など

本学は、地域や企業との産学連携を通じ、さらなる研究の発展と社会に寄与する人材育成に取り組んでいく。

歯学部
交換研修

メキシコ・アメリカの協定校から研修生が来学

歯学部では、建学の精神に基づき国際未来社会で活躍し得る歯科医師を育成するため、海外協定校との相互交流に力を入れている。中でも交換研修プログラムは大きな特色のひとつ。学生が在学中から諸外国の歯科医療の現状を学ぶことができる海外研修制度を設けるとともに、研修に参加した学生が海外から研修生を迎え入れることで、継続的かつ相互的な交流が実現できるプログラムとなっている。

2月にはメキシコの協定校1校、3月にはアメリカの協定校3校から

研修生を受け入れ、交流を図った。研修では、歯科教育用患者ロボットシミュレーションシステム「シムロイド[®]」の体験など、本学の設備を活用した実践的なプログラムを実施した。また、付属病院の見学や本学教員による講義を通じて、

日本の歯科医療の現状や教育体制について理解を深めた。期間中は、昨年夏から秋にかけて各大学で行われた研修に参加した本学学生が世話役を務め、学生同士の交流も活発に行われるなど、実りある研修となった。

国名	大学名	日程	人数
メキシコ	メキシコ州立自治大学	2/17~22	研修生10人、インストラクター1人
アメリカ	テキサス大学サンアントニオ校	3/1~4	研修生10人、インストラクター2人
	アラバマ大学バーミングハム校	3/7~11	研修生10人、インストラクター2人
	カリフォルニア大学ロサンゼルス校	3/19~24	研修生9人、インストラクター2人



ロボットシミュレーションシステムを体験するアラバマ大学バーミングハム校(写真左)と本学の設備を活用し歯科治療を学ぶテキサス大学サンアントニオ校(写真右)の研修生たち

歯学部公開講座「眼の病気 過去と現在」をテーマに講演を開催

3月7日、本学歯学部総合臨床医学講座眼科学分野の樺澤昌准教授を講師として、「歯学部公開講座」を坂戸キャンパスで開催した。当日は地域の方々をはじめ130人以上が参加し、多くの来場者で賑わった。講座では、「眼の病気 過去と現在」をテーマに、眼科学の概要や眼の生理的な仕組みについて解説したほか、白内障の病態や人類史における白内障治療の変遷について、画像を交えながらわかりやすく紹介された。

来場者からは「白内障手術の歴史を詳しく知ることができ、大変

勉強になった」「講演がわかりやすく、とても興味深かった」などの声

が寄せられ、本講座は好評のうちに終了した。



公開講座の様子

さくらサイエンスプログラム

韓国・ベトナムから研修生受け入れ

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が行う国際青少年サイエンス交流事業「さくらサイエンスプログラム」に採択され、保健医療学部が2月に檀国大学校(韓国)から6人、3月にホーチミン市医科薬科大学(ベトナム)から7人の研修生を受け入れた。

◎ 檀国大学校 ◎

歯科衛生士をめざす学生たちが、研修テーマ「“食べる”を支えるチーム医療—歯科衛生士の摂食嚥下リハビリテーションと訪問健康管理プログラ

ムの体験—」に基づき、在宅患者を想定した口腔衛生管理や摂食嚥下障害患者への食事介助などの実習を体験。超高齢化が進む日本における歯科衛生士の口腔健康管理に関する知識を深めた。

◎ ホーチミン市医科薬科大学 ◎

研修テーマ「歯科衛生士養成課程プログラムの体験—ベトナムにおける歯科衛生士・歯科看護師の養成プログラム新設支援」に基づき、学内外での講義や実習を通じて、日本における

歯科衛生士の役割や養成教育に関する知識を深めた。ベトナムでは歯科衛生士の国家資格が存在しないため、研修に参加した歯科医師たちは、歯科医師と歯科衛生士の役割分担や協力体制に特に強い関心を示していた。



在宅高齢患者を想定した口腔内チェックを行う檀国大学校の研修生たち

生成AI時代の学びを展望する 2026明海大学「大学と地域連携の未来」シンポジウム開催

2月7日、浦安キャンパスにおいて2026明海大学「大学と地域連携の未来」シンポジウムを開催。本シンポジウムは2017年より継続して実施されており、今回で10回を迎えた。今回は「生成AI時代の教育～ AIで変わる学びの可能性～」をテーマに2025年度に実施した小中高等学校等への支援活動について、学生の発表を中心に紹介し、その成果と課題を教育関係者や学生、地域関係者と共有した。

当日は、札幌国際大学の安井政樹

准教授による基調講演「これからのAI時代における学びの転換」において、AIの進展が教育に与える影響や、主体的な学びの重要性について示唆に富む講演が行われた。続く学生発表では、小中高等学校における学習支援や異文化交流など、本学の学生が地域と連携して取り組んできた教育活動の成果が報告され、実践的な学びの意義が共有された。

さらに、教育委員会関係者や高校教員、本学学生を交えたパネルディスカッ

ションでは、生成AIの活用と課題について多角的な視点から議論が展開され、教育現場における今後の可能性と方向性について理解を深める機会となった。

本シンポジウムは、大学と地域が連携しながら新たな教育の在り方を探究する場として、今後の教育実践のさらなる発展に寄与することが期待される。



パネルディスカッションの様子

多様な業界と出会い、学内業界研究セミナーを開催
視野を広げる

1月29日、30日の2日間、浦安キャンパスにおいて「学内業界研究セミナー」を



企業の採用担当者から説明を受ける学生たち

開催した。本セミナーは、学生が幅広い業界への理解を深め、就職活動に向けた視野を広げることを目的として実施しているもので、今回は2日間で約160社が参加した。初日は体育館に80社が集まり、各ブースでは企業担当者から事業内容や仕事の魅力、求める人材像などについて直接説明が行われた。

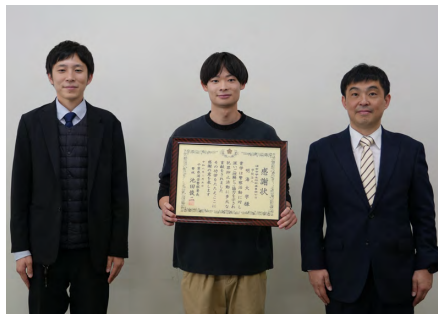
複数の企業と直接対話できる本セミナーは、学生にとって新たな業界への関

心を喚起するとともに、自身の進路を具体的に考える貴重な機会となっている。当日は、普段の様子とは異なりリクルートスーツに身を包んだ学生たちの就職活動に向けた強い意欲と緊張感のある雰囲気が会場全体に広がっていた。

本学では、1年次から段階的なキャリア支援を行っており、本セミナーもその一環として位置づけられている。参加した学生にとっては、就職活動に対する不安の解消や今後の行動指針を得る契機となり、将来に向けた確かな一歩を踏み出す場となった。

浦安警察署より 学生防犯委員会V5の功労を称えて 感謝状授与

2月28日、本学浦安キャンパスにおいて、浦安市学生防犯委員会V5の



贈られた感謝状を手にする
中央委員会 菊地遥斗さん(中央)

長年にわたる功労に対し、浦安警察署から感謝状が授与された。

同委員会は、新浦安駅構内や駅前広場、入船交差点などの公共空間を拠点に、多岐にわたる防犯活動を展開してきた。主な活動内容は、痴漢撲滅運動や自転車盗難防止の呼びかけ、さらにはマナー啓発活動などである。これらの継続的な取り組みは、地域の犯罪抑止と安全・安心なまちづくりに大きく寄与するものとして、

高い評価を受けた。

感謝状を手にした中央委員会の菊地遥斗さん(当時:経済学部4年)は、「活動を通じ、防犯は一人ひとりの意識の積み重ねであることを実感した。卒業後もこの志が次代に受け継がれ、地域の安全を守る活動が継続されることを願っている」と、後輩たちへの期待を込めて語った。学生たちの真摯な活動は、地域社会との絆を深める貴重な足跡となっている。

◆◆ オープンキャンパス(3/22)開催報告 ◆◆

3月22日、本学浦安キャンパスにて、高校1・2年生を主な対象としたオープンキャンパスが開催された。今回は歯学部を含む全学部が参加し、早期の進路意識向上と志望校選びの第一歩を支援することを目的として行われたものである。

当日は、大学の全体像を伝える「オープニングガイダンス」を皮切りに、自分に合った進路を探る「学部選びガイド」や、教員や在学生から直接教育の特色を聞ける「学科魅力発見コーナー」など、本学独自の学びに触

れられる多彩なプログラムが実施された。また、キャンパスツアーや学生とのフリートーク、学食体験といった、実際のキャンパスライフを肌で感じる企画も多く参加者から好評を博した。

参加した高校生からは「学生も先生も非常に丁寧に対応してくださり、ぜひこの大学に入学したいと思った」といった前向きな感想が寄せられた。今後も、受験生たちが本学の学びをより深く理解できるような、有意義な情報発信やイベント開催を継続していく。



来場者に説明をする学生スタッフ



ホスピタリティ・ツーリズム学科魅力発見コーナーの様子

浦安キャンパス

オープンキャンパス10:00~14:30

要予約

外国語/経済/不動産/ホスピタリティ・ツーリズム/保健医療学部/
大学院 (応用言語学研究所・経済学研究所・不動産学研究所)

5月10日(日)、6月14日(日)、7月12日(日)、7月26日(日)、
8月1日(土)、8月16日(日)、8月30日(日)、10月4日(日)、
11月29日(日)、2027年3月28日(日)

入試・進学相談会

要予約

11月1日(日) ※学園祭「明海祭」同時開催

お問い合わせ/企画広報課 TEL 047-355-1101

坂戸キャンパス 歯学部

オープンキャンパス

要予約

5月10日(日)、6月14日(日)、7月26日(日)、8月23日(日)、9月27日(日)、
10月10日(土)、10月11日(日)、12月6日(日)、2027年3月28日(日)

※5月10日(日)、6月14日(日)および2027年3月28日(日)は、歯学部の紹介や個別相談を
浦安キャンパスで開催します。

※10月10日(土)、11日(日)は学園祭「けやき祭」同時開催

地区入試相談会

10月17日(土) (宮城県仙台市)・11月14日(土) (福岡県福岡市)

お問い合わせ/歯学部入試事務室 TEL 049-279-2852

各詳細は本学公式HPをご覧ください。

<https://www.meikai.ac.jp>

※内容が変更となる可能性がございます。



体育会サッカー部 体育会サッカー部に柱谷哲二新監督が就任

元日本代表主将の指導で関東1部リーグ昇格を目指す

本学体育会サッカー部は、関東大学サッカー1部リーグへの昇格を目標に、2026年1月、柱谷哲二新監督が就任した。柱谷監督は、現役時代にヴェルディ川崎(当時)でJ1リーグ連覇を達成し、日本代表としても72試合に出場するなど、日本サッカー界を牽引してきた。

引退後は、Jリーグ複数クラブの監督や日本サッカー協会公認Proライセンス保持者として豊富な指導経験を積んできた。直近では花巻東高等学校でテクニカルアドバイザーを務めるなど、育成面でも情熱を注いでいる。

今後は、日本代表OBとしての卓越した経験と指導力に基づき、本学選手の育成とチーム力の強化を図る。学問とスポーツを両立させた、次代を担うサッカー人材の輩出が期待される。

新監督プロフィール

■氏名: 柱谷 哲二(はしらたにてつじ)

■主な選手歴: 日産自動車サッカー部、ヴェルディ川崎。日本代表として国際Aマッチ72試合出場。

■個人タイトル: 日本リーグMVP(1991-92年)、Jリーグベストイレブン(1993-95年)など。

■主な指導歴: コンサドーレ札幌監督、浦和レッドダイヤモンズコーチ、東京ヴェルディ監督、水戸ホーリーホック監督、ギラヴァンツ北九州監督ほか。



2027年度入学試験日程一覧

■浦安キャンパス 外国語学部/経済学部/不動産学部/ホスピタリティ・ツーリズム学部/保健医療学部/大学院

入試区分名		出願期間		試験日	合格発表日	
総合型選抜(AO)	A日程	分析力	9月1日(火) ~ 9月14日(月)	9月27日(日)	11月1日(日)	
	B日程	基礎学力	9月21日(月) ~ 10月2日(金)	10月17日(土)	11月1日(日)	
	C日程	分析力	9月30日(水) ~ 10月9日(金)	10月25日(日)	11月1日(日)	
	D日程	分析力	10月26日(月) ~ 11月4日(水)	11月15日(日)	11月20日(金)	
	E日程	分析力	11月23日(月) ~ 12月2日(水)	12月13日(日)	12月18日(金)	
	F日程	分析力	2月22日(月) ~ 3月3日(水)	3月13日(土)	3月16日(火)	
総合型選抜(クリエイティブ入試)			9月30日(水) ~ 10月9日(金)	10月25日(日)	11月1日(日)	
総合型選抜(なりたいじぶん入試)	A日程		9月21日(月) ~ 10月2日(金)	10月11日(日)	11月1日(日)	
	B日程		10月26日(月) ~ 11月4日(水)	11月15日(日)	11月20日(金)	
総合型選抜(スポーツ・文化活動)	A日程		9月30日(水) ~ 10月9日(金)	10月25日(日)	11月1日(日)	
	B日程		11月18日(水) ~ 11月27日(金)	12月13日(日)	12月18日(金)	
	C日程		2月22日(月) ~ 3月3日(水)	3月13日(土)	3月16日(火)	
総合型選抜(企業推薦)	A日程		11月1日(日) ~ 11月11日(水)	11月22日(日)	12月1日(火)	
	B日程		2月22日(月) ~ 3月3日(水)	3月13日(土)	3月16日(火)	
総合型選抜(生涯学習型社会人)	A日程		10月5日(月) ~ 10月9日(金)	10月25日(日)	11月1日(日)	
	B日程		2月22日(月) ~ 3月3日(水)	3月13日(土)	3月16日(火)	
学校推薦型選抜	指定校		11月1日(日) ~ 11月11日(水)	11月22日(日)	12月1日(火)	
	全国商業高等学校長協会					
	全国工業高等学校長協会					
	沖縄特別奨学生					
SDGs(高大連携入試)						
一般選抜	A日程	全学科	1月8日(金) ~ 1月19日(火)	2月1日(月)	2月10日(水)	
	統一			2月2日(火)		
	B日程	全学科		2月3日(水)		
大学入学共通テスト利用選抜	A日程		1月8日(金) ~ 1月19日(火)	1月16日(土)17日(日) (大学入学共通テスト)※	2月10日(水)	
	B日程					3月6日(土)
	C日程					
外国人留学生特別入学試験	A日程		9月30日(水) ~ 10月9日(金)	11月7日(土)	11月12日(木)	
	B日程		1月30日(土) ~ 2月8日(月)	3月2日(火)	3月6日(土)	
編入・転入・学士入学試験			10月5日(月) ~ 10月9日(金)	10月25日(日)	11月1日(日)	
	A日程		9月16日(水) ~ 9月25日(金)	10月17日(土)	10月23日(金)	
大学院			1月18日(月) ~ 1月22日(金)	2月20日(土)	2月25日(木)	
	B日程	博士後期				

※ ホスピタリティ・ツーリズム学部ホスピタリティ・ツーリズム学科グローバル・マネジメント専攻および保健医療学部口腔保健学科の大学入学共通テスト利用選抜は、別途面接があります。(面接日: A日程 2月2日(火)、B日程 3月1日(月)、C日程 3月13日(土))

※ 坂戸キャンパス(歯学部/大学院)の2027年度入学試験日程については、決定次第、本学公式ホームページで発表します。